

6つの集落の古道

瑞穂区には江戸時代から成り立っていた 6 つの集落（本井戸田村・北井戸田村・大喜村・高田村・本願寺村・中根村）の古い道が残る。ほとんど区画が整理されていないため、細くうねった特徴的な道が多い。また、これらの集落内には社寺も多く見られる。

旧制八高の
名残がみられた

4 「河合塾」 設立の地

開府 300 年後に誕生
「新」堀川

2 新堀川の碑

Bゾーンには、和と洋を折衷した戦前の住宅が見られた

洋風集合住宅

瑞穂区にあった！

明治19年(1886)から約10年、東海道に近い現在の浮島町付近に熱田駅がありました。



明治24年地図(国土地理院)

“瑞穂”の地名
由来の場所！？

① 明治天皇覽穫之所

稲穂の校章

瑞穂区は昔から学校が多く集中している。瑞穂区の中でも特に西部に多く、小学校・中学校・高等学校の校章には瑞穂が使われているものが多い。



名古屋市立瑞穂小学校

この他に瑞穂区内で校章に稲穂が

使われている学校は以下の8

名古屋市立穂波小学校

名古屋市立井戸田小学校

08 枚

多主屋市立田峯中学校

名古屋市立瑞穂ヶ丘中

愛知みずほ大学瑞穂高等学校

瑞穂運動場の誘致

瑞穂運動場の誘致には、3つの組合がそれぞれ土地を出し合った。



洋館付和風住宅

彌富町の残り

町名は、明治時代に誕生したかつての弥富村に由来する。

弥富町は、瑞穂区の三分の一以上を占める町域であったが、幾つもの町に分かれ、現在は三箇所に分かれている。

区の北東部の弥富町は、

桜ヶ岡 清水ヶ岡

月見ヶ岡 緑ヶ岡

上山 円山

密柑山 紅葉園
の8つの字名が残る。

区の東端の茂木町に接する弥富町は、
弥富町字茂山

区の南、天白川沿いは、河川敷で瑞穂区内の天白緑地で、単に「弥富町」である。

⑤ さくら名所 100 選の碑

高低差

瑞穂区の標高を10mごとに5段階に分けて示しています。

この色は瑞穂台地を示しています。

 輪環道路
 旧東海道
 郡道（千種街道）
 郡道（高田街道）
 郡道（平針街道）
 精進川跡
 山崎川跡
 J R東海道本線
 名鉄線
 地下鉄桜通線
 地下鉄名城線
 学校
 公園
 池跡
 荻ノゴルフ場跡



瑞穂区近代 の歴史散歩